

2022年7月24日

北神戸軟式少年野球連盟

会長 有本 隆 士

第25回神戸新聞社旗争奪神戸ジュニア少年野球大会の案内

- ① 主 催 北神戸軟式少年野球連盟
後 援 神戸新聞社
協 賛 ダイワマルエス(株)、キドスポーツ
 - ② 大会期日 2022年9月3日(土)～ 尚、本年は新型コロナウイルス感染症のため開会式は行いません。
 - ③ 参加条件 9月3日以降の土・日・祝日の弊連盟試合予定日に試合のできる5年生以下のチームとします。(学校行事は考慮致します)
 - ④ 参加金 ¥5,000- 【各チームの第1試合時に徴収させていただきます】
 - ⑤ 締切り日 2022年8月11日(木・祝) 17:00迄
 - ⑥ 抽 選 2022年8月20日(土) 北神戸軟式少年野球連盟による代理抽選とし、抽選結果は弊連盟HPに掲載します。
 - ⑦ 登録名簿 別紙、登録名簿に必要事項を記載の上、下記メールアドレスに送信してください。
メールアドレス: kt541029kt@gmail.com
 - ⑧ 大会規定 別紙
 - ⑨ 新型コロナウイルス感染症により、選手が9名そろわない時はそのチームは不戦敗とする。
但し、未登録選手の臨時登録は認める。
- *北神戸軟式少年野球『新型コロナウイルス対策特別規定02』は別紙としていますが、感染状況により改訂します。

以 上

第25回神戸新聞社旗争奪神戸ジュニア少年野球大会規定

北神戸軟式少年野球連盟 令和4年度

1. ルールは、本大会規定を適用し、公認野球規則を準用する。
2. 試合に参加（ベンチ入り）できる選手および指導者（監督・コーチ・スコアラー）は、各リーグに正式登録された者とする。
3. 使用球は、ダイワマルエスJ号ボールとし、本部から支給する。
4. 試合は6回戦とし、1時間30分を超えて新しいイニングに入らない。なお、決勝戦は時間に関係なく6イニングまで行う。試合終了時点の場合にはタイブレーク方式を採用して、攻守1回で勝敗を決することとし、それでも勝敗が決しない時は抽選により決定する。タイブレーク方式は、無死満塁で継続打者により攻撃を行い、前打者3名が順次塁を埋める。
5. 投手の投球数は、1日70球までと制限する。登板中に制限球に達した場合は、当該打者が打撃を完了するまで投球することができる。投球数は試合本部がカウントする。
6. 降雨、日没等により試合を継続できないと審判員が判断した場合は、4回表裏を完了した後であればコールドゲームを適用し正式試合とする。本項は決勝戦についても適用する。
4回表裏を完了していない場合はノーゲームとし再試合を行う。但し、4回表を終わった際、または4回裏の途中で後攻チームの得点が多い時は正式試合とする。
コールドゲームを適用した場合、その試合の総得点及び勝敗は公認野球規則に準じて決するものとする。
7. 得点差によるコールドゲームは、得点の少ないチームの4回攻撃終了時10点差、5回攻撃終了時7点差をもって成立させる。本項は決勝戦についても適用する。
8. 投手の準備投球数は、登板初回は7球以内、次回から3球以内とする。他の守備位置についた選手が再度登板する場合の準備投球数は、その時の状況により球審が判断する。
9. 集合時間は、試合開始時間の30分前までとし、監督（代理監督）は主将を伴い、メンバー表4通を持参し本部に届出ること。
10. ベンチは、組み合わせ番号の若番が一塁側とする。
11. 指導者のベンチ入り人数は、監督、コーチ、スコアラーを含め6名以内とする。
12. 指導者の服装は、監督（背番号30）およびコーチ2名（背番号28、29）はユニホームを着用し、他の指導者は所属リーグで認められチームで統一された服装とする。尚、背番号を付けていないユニホームを着用してのベンチ入りは認めない。
13. ルール確認権を有する者は、監督および代理監督のみとし、他の指導者の確認は一切認めない。
ストライク・ボール・アウト・セーフの判定に対する確認は原則認めない。
14. タイムの回数は、攻守で各3回までとする。タイブレーク方式の場合は、攻守1回毎にタイム1回を認める。
15. 打者、走者、ベースコーチ、本塁付近のノッカー補助は、安全確保のためヘルメットを着用すること。
16. 捕手は、必ずマスク・ヘルメット・プロテクター・レガース、ファールカップ（女子は任意）を着用すること。準備投球中の代理捕手は、マスク・ヘルメットのみでも良い。
17. 事故防止のため、試合前ベンチ入り後はグラウンド内での打撃練習を禁止する。また、試合中は次打者のダートサークル付近を除きバットの素振りを禁止する。
18. 試合記録員として、当該試合チームから1名ずつ選任し、本部に着席して記録を行う。
19. 試合前シートノックは、5分以内としてベンチ入り後速やかに開始する。尚、大会運営上短縮又はなしとすることがある。
ノッカーおよびノッカー補助は3名以内とする。シートノック終了後は、両チーム指導者でグラウンド整備を行う。
20. 審判は、決勝・準決勝戦を除き原則として同一球場組み合わせチームの相互審判とし、試合組み合わせと同時に通知する。
21. 審判員の服装は、所属するリーグが認めた審判服装とする。
22. 試合中および試合後、対戦チームや審判員を誹謗する言動は厳禁とする。自チーム選手を叱咤激励するための暴言も認めない。
23. 感染症予防のため、別に定める特別規則を遵守すること。

以上

2022年7月2日制定

本規定は、当連盟の本部役員・審判員・指導者・保護者・選手及び当連盟主催大会に参加する全てのチーム関係者に適用する。

① 選手の試合及び練習への強制参加はさせない。【事前に保護者に参加承諾を得ること】

② 指導者・保護者への注意点及び特別規定

* 選手の体調不良の時は参加させない。【指導者・選手の健康管理表を作成すること】

* 応援者・観戦者は指定場所で大声を出して応援しない。

* マスクは着用する。【口・鼻を隠すように着用すること】

『熱中症対策としてマスクの取り外しは可とする』

* ソーシャルディスタンスを必ず守る。【人との間隔は1 m以上空けること】

* 審判員へのお茶当番はありません。

* テント設置は認めます。【設置をする時は各グラウンド責任者に確認後に行うこと】

③ 指導者・選手への注意点及び特別規定

* 指導者（スコアラー含む）のグラウンド内及びベンチ入りの人数は6名以内とする。

* 指導者及び選手はマスクを必ず着用する。【口・鼻を隠すように着用すること】

但し、選手の守備・打者・走者・次打者の選手は着用しなくてよい。

* 選手のグラウンド内・ベンチ前等での大声による円陣・声援をさせない。

* 声出しの指示等は監督のみとする。

* 指導者・選手に於けるハイタッチは行わない。

* ベンチ入りの選手は必要最小限して下さい。【例：12～14名】

* 試合記録は、試合中のチームより1名本部席に着席し記録を行う。

④ 本部役員・審判員への注意点及び特別規定

* 本部役員・審判員のお茶等は各自用意する。

【審判を行う時はお茶等はネット際等に置いて下さい】

* 本部役員・審判員はマスクを着用する。【口・鼻を隠すように着用すること】

『熱中症対策としてマスクの取り外しは可とする』

* 本部役員が観戦・打合せを行う時はソーシャルディスタンスを必ず守る。

⑤ 試合時の注意点及び特別規定

* 先攻後攻を決める時のキャプテン同士の握手は行わない。

* 試合前・試合終了時のホームベース付近での挨拶は行わずベンチ前で行う。

* 第一試合と第二試合等の間隔をあげ、4チームが接触しないようにする。

* 第二試合のチームは第一試合のチームがグラウンドを退場するまで入場できない。

* 試合終了後のミーティング・飲食はグラウンド近辺では厳禁する。

【速やかにグラウンドから退場する】

* 新型コロナウイルスによる休校・学年閉鎖等で試合ができないチームは不戦敗とする。

但し、未登録選手の臨時登録を認める。

※1 特別規定は本部役員会で運用の有無を決定する。

※2 国・県・市の新型コロナ対策が発表された時はそれに従う。